

### 連合奈良の日(8月度)

各地協による新聞折込みで「7月の豪雨災害緊急カンパ」のお願いと引き続いて「労働相談ホットライン」の案内をしました。

連合は被災地での雇用対策や災害復興の一助とする義援金として、緊急カンパを受け付けています。是非皆さんの善意をお寄せください。

**取組期間: ~2020年8月31日(月)**  
**振込先: 中央労働金庫 本店営業部**  
**普通預金 0166361**  
**口座名: 連合2020年7月豪雨災害カンパ**

中和地協にお寄せいただければ取りまとめて振込させていただきます。

### 連合奈良

#### 2020年7月豪雨災害に対する緊急カンパのお願い

2020年7月豪雨により、各地で甚大な被害が発生しています。おこりになされた方々に、心より涙で哀悼の意を表します。また、コロナ禍の中、家屋倒壊や浸水、土砂災害、停電などのために、今も多くの方が避難されています。被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

### 感染症の拡大で仕事への意識が大きく変化 (内閣府調査)

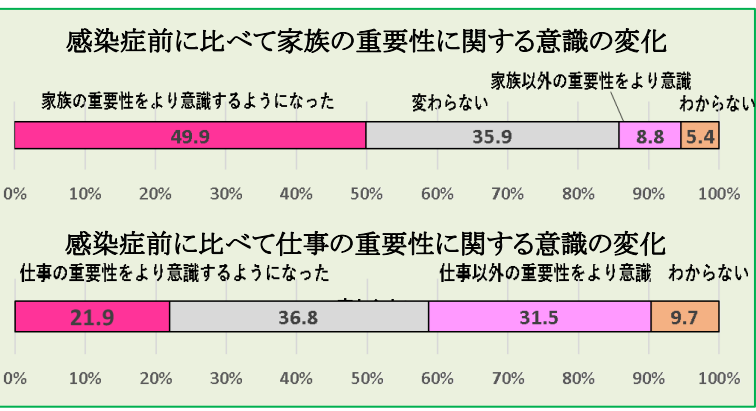
6月21日に「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」の結果が内閣府から公表された。緊急事態宣言解除直後の5月25日~6月5日にかけてWEB調査により10,128人から回答を得たもので、以下のような傾向が見られた。

#### 仕事よりも家族を重視する人が増加

「感染症拡大前に比べて家族に関する意識がどう変化したか」との設問に「家族の重要性をより意識するようになった」という回答が**49.9%**と2人に1人が家族を重視するよう意識が変化したと見て取れる。一方で、同様に仕事の重要性を問うた設問では、「仕事の重要性をより意識するようになった」が21.9%、「**仕事以外の重要性を意識するようになった**」が**31.5%**という結果で



コロナ禍で重視するものが仕事以外にシフトしているものと見てとれる。ただ、この結果は裏返せば感染前に家族の重要性についてあまり意識していない人の割合が高かったということでも。



### 連合奈良

#### 新型コロナウイルス関連

#### 緊急労働相談ホットライン

連合奈良なんでも労働相談ホットライン

**0120-154-052**

フリーダイヤル いごよう れんごうに

相談無料 秘密厳守

#### 生活満足度が大きく低下

生活全体の満足度についての設問では、満足度が感染拡大前に比して25%程度低下している。交友関係やコミュニティ、社会とのつながり、生活の楽しさが30%以上の低下で生活全体の満足度を大きく低下させているといえる。

#### 若年層で地方移住への関心が高まる

三大都市圏居住者への地方移住の関心について尋ねたところ、3.8%が「関心が高くなった」11.2%が「関心がやや高くなった」と回答。15%の人が地方移住への関心を高めているという結果に。年代別には20歳代、30歳代で特にその傾向が強く現れた。地方に居てもテレワークで日常に業務が出来るのではないかと期待感も関心を高める一因かもしれない。

また、こうした傾向は東京を中心とした都市圏への人口集中を緩和し地方への人口分散を促すことになるかもしれない。自治体に取り組んでいる人口減少対策がコロナ禍で多少なりとも進展することを期待したいし、経済活動が回復しても地方移住への熱が冷めないことを願う。



#### 進むテレワークに課題

コロナ禍での働き方の設問では、何らかの形でテレワークを実施していた就業者が34.6%、東京23区では55.5%が実施していたとの結果。テレワークの規模や内容は定かではないものの可能な業務は相当あるのだと想像できる。しかし、実際にテレワークを実施した人への設問でテレワークできない又は合わない職種との回答が36.1%、社内での相談が困難、取引先とのやり取りが困難、コミュニケーション不足やストレスなどの指摘もあった様で、しっかりと仕組みを労使で作りに上げることが重要かと考える。